

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	火災予防活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の初期消火・救助技能の向上(制度整備) ・民間事業所と連携した高齢者住宅防火指導の実施 ・違反防火対象物の公表制度の導入(制度整備・周知) 							
根拠法令・条例等	消防法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		現予算以上の削減は困難であり、今年度の出前講座等の事業実績を検証し事業費を見直す。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		出前講座等の事業の実施結果から、事業効果を検証し来年度以降はより効率的な実施を図る。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 対象事業は、昨年度策定の消防力の整備計画等に基づくものであり、進捗状況は、PDCAの“D”段階にあることから、計画に忠実に実施していく必要がある。							

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課・消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	消防職・団体教育推進事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	・消防職・団員教育計画の策定							
根拠法令 ・条例等								
体制	<input type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		先輩消防職団員による教育指導で実施しており経費計上がない。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		消防職団員の教育は、年間計画に基づき実施しており効率化は困難である。						

中間 評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 消防職団員の若年化で経験が不足していることから、継続的に事業を続け推進する必要がある。							

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	応急手当普及活動事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	・民間応急手当普及員の養成(周知・普及員養成)							
根拠法令・条例等	消防庁「応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」 「二宮町応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱」							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		消防職員により必要最小限の経費で実施している。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		民間応急手当普及員の養成計画が実現することで消防職員の負担が軽減する。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 本事業の推進により、より多くの救命講習修了者の育成され、安全・安心の町づくりを目指す上で一助となる事業ですが、民間応急手当普及員の養成に遅れが見られる。							

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり					
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)					
予算等事業名	緊急消防援助隊活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時に神奈川県隊として迅速に出動(要請に応じ、出動) ・消防受援計画の検証・修正 							
根拠法令・条例等	消防組織法・緊急消防援助隊に関する政令							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか		
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由	消防力の整備実行計画に定めたが規程策定が遅れている。	

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	消防職員による作業のため経費に反映されない。	

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか		
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	県の「緊急消防援助隊神奈川県後方支援要領」により実施が図られるものです。	

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 大規模地震災害等の発生が危惧されているなかで、合同訓練が行われるようになり、受援計画の作成は急務である。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	救急救助活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	・救急救助業務の充実に向けた検討							
根拠法令・条例等	消防組織法 消防法							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		円滑な救急救助活動を実施するため、消耗品(酸素、医薬材料)などの経常経費が必要と思われる。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		住民が期待する災害対応をするため、最小限の予算にて運営をしているため、効率化は困難と思われる。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 救急救助活動は、住民の生命、身体を守るために最小の経費で最大の効果を図っている。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	警防活動経費							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・気象観測装置を更新し、正確な気象情報を収集する(運用) ・消防訓練施設の新規整備に向けた検討 ・旅客交通機関等との連携強化に向けた調整(協定等・計画案策定) ・消防部隊運用計画の作成(策定・検証・修正) 							
根拠法令・条例等	-							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	消防訓練施設は場所の選定に苦慮しており、予算化が図れない状況にある。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	消防力を維持するのに必要で最小限の経費です。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	災害から住民生活の安心、安全を確保のため効率化がなされている。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】	限られた消防力を最大限に発揮し住民の生命、身体、財産を火災等の災害から守っている。			

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり
分野別方針	環境、防災	実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)
予算等事業名	1市2町高機能消防指令センター整備・運用事業		
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。		
内容	・消防指令業務の共同運用		
根拠法令・条例等	「1市2町消防指令業務の共同運用等検討委員会設置要綱」 「平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会設置に関する協議書」		
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか			
<input checked="" type="checkbox"/> ① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/> ② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/> ③ 未実施	
②、③に対する理由			

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか			
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 削減は困難		
理由	共同整備は経費の削減に繋がっているが、関係市町により協議して維持管理経費の抑制を図る。		

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか			
<input type="checkbox"/> ① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/> ② 効率化は困難		
理由	共同指令センターの運用で施設及び職員の有効活用について試行を計画している。		

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 平成29年4月より指令業務の共同運用が開始され、共同指令センターが効率的かつ効果に運用されるように関係市町で協議し推進する。	

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課・消防署					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	消防車両・救急車両・分団車両更新事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車両(消防署)更新事業(ポンプ車更新整備) ・救急自動車更新事業(仕様検討) ・消防車両(分団)更新事業 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input checked="" type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由	車両更新整備を計画しているが、当初計画より車両の更新が遅れている。				

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由	現在の消防力を維持するにあたり、削減は困難である。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由	現在の消防力を維持するため、消防車両の更新は不可欠であり、今後も消防力の充実強化が必要である。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 今後も長期的視野のもと、計画的に車両更新が必要である。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	分団施設維持管理・整備事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	・消防団活動拠点の整備拡充を図る(第2、第4分団整備検討)							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由		維持管理経費は必要最小限です。						

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由		維持管理経費は必要最小限に留めているが、詰所の再配置や再整備で活動拠点の拡充を図る。						

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)							A
	【説明】 老朽化している施設の更新を再配置計画に沿って検討し、維持管理経費は引き続き抑制を図る。							

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3-1 災害や犯罪に備える地域づくり				
分野別方針	環境、防災		実施計画事業	消防・救急活動事業(No.52)				
予算等事業名	消防団体制強化・再整備事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進める。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある消防団づくりに向けた調整 機能別消防団員制度の検討(要綱案・条例案検討) 							
根拠法令・条例等								
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		円滑な活動のため経費の削減は困難と考えます。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		消防団と検討と協議を継続していく。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	【説明】 新基準活動服や防火衣、安全装備品、機能別部隊用の資機材等の整備を図り、長期的展望により事業の推進を図る。		

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課		
基本構想	交通環境と防災対策の向上	重点的方針	3-2 公共施設の総合的マネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)		
予算等事業名	消防庁舎維持管理経費				
目的	公共施設の適切かつ効果的な管理と再配置、及び、行財政運営の効率化による経費の重点配分。				
内容	・施設運営と管理に係る経費				
根拠法令・条例等	建築物の維持管理に関する各種法令				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	
<input type="checkbox"/>	③ 未実施				
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難	
理由	庁舎環境維持のため必要最小限です。				

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難	
理由	これ以上の効率化は環境維持が図れない。				

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 庁舎竣工から経過年数が経ち、外壁塗装や設備等に不具合があることから再配置計画にそって対策が必要です。				

平成 29 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防本部 消防課		
基本構想	戦略的行政運営	重点的方針	3-2 公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり		
分野別方針	自治体経営	実施計画事業	公有財産管理運営事業(No.89)		
予算等事業名	消防広域化への取組み				
目的	広域的な行政施策や取組みを必要とする行政課題等の情報交換及び連絡調整を図り、広域行政を推進する。				
内容	・平塚市及び大磯町との検討(準備)				
根拠法令・条例等	-				
体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施	<input type="checkbox"/> 一部委託あり	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> その他	

中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか					
<input checked="" type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している	<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている	<input type="checkbox"/>	③ 未実施
②、③に対する理由					

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 削減は困難		
理由		継続して諸課題を協議検討する必要がある。			

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか					
<input type="checkbox"/>	① 検討できる	<input checked="" type="checkbox"/>	② 効率化は困難		
理由		経費は発生していないので削減は困難である。			

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため、引き続き事業を推進する B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、一部改善し推進する C: 事業全体を見直す必要がある D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)				A
	【説明】 消防の広域化で災害への機能強化が図られるよう1市2町で検討を進めている。				